

成果報告及び第5期生修了記念
第7回防災・危機管理人材養成シンポジウム

四国防災・危機管理プログラム 成果報告



四国防災共同教育センター
センター長 白木 渡
平成31年3月8日

<連携大学> 香川大学、徳島大学
<連携行政機関> 香川県、徳島県

四国防災・危機管理プログラム

◆大規模広域災害やグローバル化する危機に対して、適切かつ迅速に対応できる専門家を養成する事業

- ・平成25年度から募集、平成30年度で第5期生の修了
- ・香川大学と徳島大学が連携して開設、香川県、徳島県が協力

◆3つのコースに分かれた大学院の講義

1. 行政・企業防災・危機管理マネージャー養成コース
2. 救急救命・災害医療・公衆衛生対応コーディネーター養成コース
3. 学校防災・危機管理マネージャー養成コース

プログラム修了生数

コース	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
行政・企業防災コース	37	11	29	22	24
救急救命・災害医療コース	3	3	7	3	3
学校防災コース	5	2	6	0	0
合計	45	16	42	25	27

修了要件
共同実施科目:4科目7単位
コース専門科目:3科目5単位
合計:12単位

**5年間の修了生数
155名**

※平成29年度以前と平成30年度以降はコース分類が異なる

四国防災・危機管理プログラム コース選択

① 行政・企業・医療防災・危機管理 マネージャー養成コース(香川大学)

地域社会を構成する自治体・企業・医療機関などの地域組織のリスクマネジメント、事業継続計画BCPやMCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。



災害状況再現・対応能力訓練システム



講義風景

② 行政・企業防災・危機管理 マネージャー養成コース(徳島大学)

地域社会を構成する自治体・企業・地域組織のリスクマネジメント、組織及び地域のBCP策定、住民の安全・安心を守る防災・危機管理マネージャーの育成を目指します。



講義風景



講義風景

③ 学校防災・危機管理 マネージャー養成コース

地域コミュニティと連携して、学校・地域の防災教育、教育継続計画(ECP)策定、児童・生徒の安全・安心を守る指導者の育成を目指します。



講義風景

(TV会議システムによる遠隔講義)



発表資料

H30年度入学生 カリキュラム(講義科目群) 四国防災・危機管理プログラム授業科目一覧

区分	科目名称	単位数	開講学期	曜日
共同実施基礎科目	リスクコミュニケーション(1年生)	2	前期	月 18:30~
	危機管理学(1年生)	2	前期	火 18:30~
	災害と健康管理・メンタルヘルスクア(1年生)	2	後期	火 18:30~
	防災・危機管理実習(1年生)	1	前期	集中 (6/16~6/17)
行政・企業・医療防災・危機管理 マネージャー養成科目群 (香川大学)	行政・企業・医療のリスクマネジメント(1年生)	2	後期	水 18:30~
	事業継続計画(BCP・MCP)の策定と実践(2年生)	2	前期	月 16:20~
行政・企業防災・危機管理 マネージャー養成科目群 (徳島大学)	行政・企業のリスクマネジメント(1年生)	2	後期	水 18:30~
	事業継続計画(BCP)の策定と実践(2年生)	2	前期	月 16:20~
学校防災・危機管理 マネージャー養成科目群	教育機関のリスクマネジメント(1年生)	2	後期	火 16:20~
	教育継続計画(ECP)の策定と実践(2年生)	2	前期	火 16:20~
実務演習科目	行政・企業防災・危機管理実務演習(2年生)	1	後期	
	救急救命・災害医療実務演習(2年生)	1	後期	
	学校防災・危機管理実務演習(2年生)	1	後期	

遠隔講義

受講生同士のリアルタイムのやりとり

平成29年度からは
愛媛大学も一部の
講義に参加



授業風景(共同実施基礎科目) リスクコミュニケーション



なぜリスクコミュニケーションが必要なのか？

- 民主主義の基本である平等の価値観
 - 権力・財・教育・情報
- 自分だけが損失を被ることは不平等
- あらかじめリスク事象には合意形成が必要 (民主主義以外の国は別です...)
- 分散型意思決定社会 (vs 中央集権型)
 - 専門家には絶対的権威はない
 - 誰もが異論を唱えることができる
 - ツイッターの意見やネットの炎上など

社会の複雑化に応じた、合意形成社会へ



授業風景(共同実施基礎科目) 危機管理学



The Paper Tower
限られた時間と資源で、一番高いタワーを作る

授業風景(共同実施基礎科目) 災害と健康管理・メンタルヘルスカ



災害時医療の特殊性

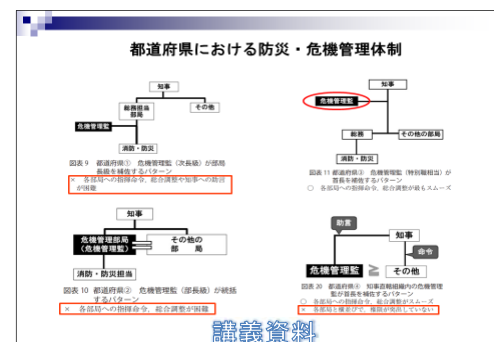
- 平時の救急医療
 - 現有的人員、医薬品、資器材を個別の患者にすべてつぎ込むことができる
 - (個々の患者にとって最良の結果を求める)
- 災害時の医療
 - 現有的人員、医薬品、資器材で最大多数の患者の救命、良好な予後を求める
 - (個別の患者の治療は制限をうける)



授業風景（共同実施基礎科目） 防災・危機管理実習（1泊2日の集中講義）



授業風景(行政・企業コース) 行政・企業のリスクマネジメント(香川大学・徳島大学)



授業風景(行政・企業コース) 事業継続計画(BCP)の策定と実践(香川大学・徳島大学)

BCPの特徴/重要な5要素

<BCPの特徴>

- 本社・主要拠点の被災を前提とする。
(何らかの理由で被災する)
- 東日本大震災では、市庁舎、企業の本社・主要工場・作業現場が壊滅的被害を受けた。
- 被害を想定していた自治体、企業は少なかった。

<BCPの重要な5要素>

- 指揮命令系統の明確化
- 本社等重要拠点の機能確保
- 対外的な情報発信及び情報共有
- 情報システムのバックアップ
- 製品・サービスの供給



災害対策本部の設置

7 対応能力訓練システムを用いたBCP訓練

●経営管理本部には見るところ大きな被害はなくオフィス内を点検し、直ちに、会社の対応体制をつき災害対策本部を本社内の経営管理本部内に設置してください。

●そして、災害対策本部長代理1名、情報記録者1名を決めて下さい。

行政・企業防災・危機管理実務演習(香川大学)

- 授業の目的
行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を通して、実務能力を修得する。
- 授業の概要
行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を担当教員の指導の下で実施し、実務能力を修得する。
- キーワード
行政、企業防災、実務演習
- 到達目標
行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を通して、実務能力を修得する。

実務演習のテーマ	
氏名	タイトル
滝川 光男 池北 夏基 仁科 陽彦	「福祉現場における防災力向上への提案」 ～防災視点で福祉領域を視覚化する～
上段 光 角森 博司 福田 智和	まちの社長とBCP
金澤 崇雄 樹本 みな 藤井 健太	家庭内コミュニケーションと小中学生の防災意識との関連調査
河村 宗一郎 清洲 正洋 和田 耕治	防災情報の提供のあり方に関する研究
柴田 中 木村 健太 渡辺 じゅん	香川大学工学部のための避難所運営システム ～オフラインSNSシステムの提案～
飯間 健司 小寺 真人 武田 卓士	香川県における道路啓開計画の考察と策定

のちほど
成果を発表

行政・企業防災・危機管理実務演習(徳島大学)

- 授業の目的
行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を通して、実務能力を修得する。
- 授業の概要
行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を担当教員の指導の下で実施し、実務能力を修得する。
- キーワード
行政・企業防災・実務演習
- 到達目標
行政・企業防災危機管理マネージャーに必要な防災・危機管理に関する実務演習を通して、実務能力を修得する。

実務演習のテーマ	
氏名	タイトル
上田 敦史	調査および実験における危機管理マニュアルの作成と改善・見直し
上原 廣紀	小本川付近の浸水被害から見る地域防災への提言
田中 勇氣	災害廃棄物の発生と処分に関する調査
田中 颯馬	新興国で適用可能な流出解析システムの構築
瀬山 淳	企業の復旧対応シミュレーションゲーム作成
齋藤 稜太	災害時における有用な情報伝達手段について

のちほど
成果を発表

13

救急救命・災害医療実務演習

- 授業の目的
災害・危機対応マネージャー(医療分野)として、職場や地域で実践できる行動力を養う。
- 授業の概要
自ら職場・地域の問題点を抽出し改善していくための手段や手順を学習する。
- キーワード
問題解決能力、地域医療貢献、行動力・実践力
- 到達目標
1. 問題点の抽出ができる。
2. 問題点の解決を通して地域医療に貢献できる。

実務演習のテーマ	
氏名	タイトル
山本 和幸	「薬局BCP策定推進と防災意識の向上」 ～香川県薬剤師会災害対策委員会としての活動～
鈴江 奈月	当院におけるロジスティック研修とアンケート結果について
出口 貴行	当院職員における災害時危機管理対応への意識調査と実態 ～職員への問題提起と職員に浸透するBCPへの改善を目標に～

のちほど
成果を発表

14

講義内容の評価

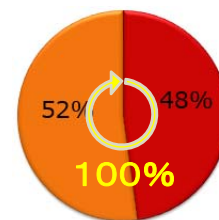
- 前期、後期の講義終了時に、全ての講義に対し授業評価アンケートを実施
 - － いずれの講義も、約8割以上が総合的に満足
 - － 質問内容
 - 講義はわかりやすかったですか
 - 座学と異なる、グループに分かれたワークショップや論文発表などの講義形式に満足していますか
 - 講義の時間帯は適切ですか
 - カリキュラムに外部講師を組み込むことは有効ですか
 - あなたは、総合的に判断してこの講義に満足していますか

15

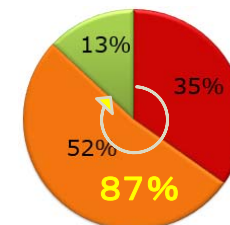
平成30年度アンケート結果(一部講義抜粋)

「あなたは、総合的に判断してこの授業に満足していますか？」

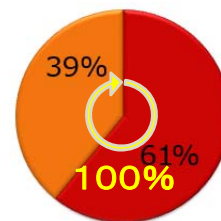
■非常にそうである ■おおむねそうである ■どちらともいえない ■あまりそうでない ■全くそうでない



危機管理学(N=23)



事業継続計画の策定と実践(N=23)



防災・危機管理実習(N=23)



災害と健康管理メンタルヘルスケア(N=22)

16

災害・危機対応マネージャーの資格認定

- 四国防災・危機管理プログラムを修了すると認定
- 「災害・危機対応マネージャー」は徳島大学、香川大学の登録商標



四国防災・危機管理プログラム 広報活動



香川県 総合防災訓練



防災士養成講座

四国防災・危機管理プログラム
連携校名: 香川大学、徳島大学

【目的】
香川大学・工学部・医学部・徳島大学・工学部との共同事業による「防災」「減災」対策を推進し、社会を安全にする人材育成を目的とし、大学院生及び社会人受講生を対象とした、「四国防災共同教育センター」による「平成24年度文部科学省大学院連携共同教育推進事業(平成24年度～28年度)」

【特徴】
1. 実践的
2. 体系的
3. 体系的
4. 体系的

【修了者数】
平成24年度: 19名
平成25年度: 28名
平成26年度: 14名
平成27年度: 15名
平成28年度: 10名